

快適な水環境を創造する流域下水道の整備

計画概要

◆計画期間 平成27年度～平成31年度(5年間)

◆計画の目標

流域が一体となって総合的な下水道整備を行い、良好な水環境を創造し、安心して快適に暮らせるまちづくりを実現する。

◆計画の成果目標(定量的指標)

指標①:下水道普及率を、64.2%(H25年度末名古屋市除く)から70.9%(H31年度末名古屋市除く。)に増加させる(その他関連する事業を含む。)

指標②:計画期間内に必要とされる処理能力の増設に着手する。

評価内容

◆交付対象事業の進捗状況

交付対象事業	事業費※	事業の実施状況	進捗率※
A（基幹事業名）	12,245百万円	水処理施設等の新・増設等を実施	90.5%
B 関連社会資本整備事業	0百万円	—	—%
C 効果促進事業	107百万円	下水道の普及啓発活動等を実施	67.7%
合 計	12,352百万円		

※事業費は、平成31年度末までの実績額

※進捗率(%)は、各事業の計画に対する実施割合【事業費ベース】

◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況（別紙1）

流域が一体となって総合的な下水道整備を実施し、下水道普及率を向上させることができた。
また、矢作川・境川流域下水道（矢作川処理区、境川処理区及び衣浦東部処理区）及び日光川下流流域下水道（日光川下流処理区）において必要な処理能力の増設に着手することができた。

Ⅱ 定量的指標の達成状況

指標①(下水道普及率)

最終目標値	70.9%	目標値と実績値に差が出た要因	流域幹線管渠の新設を実施したが、公共下水道の整備に伴う下水道普及率増加の発現までに時差が生じているため。
最終実績値	70.6%		

指標②(計画期間内に増設予定の処理能力に対する着手済の処理能力の割合)

最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	汚水量の推移により、施設を増設時期を見直したため。
最終実績値	95%		

Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)

◆今後の方針

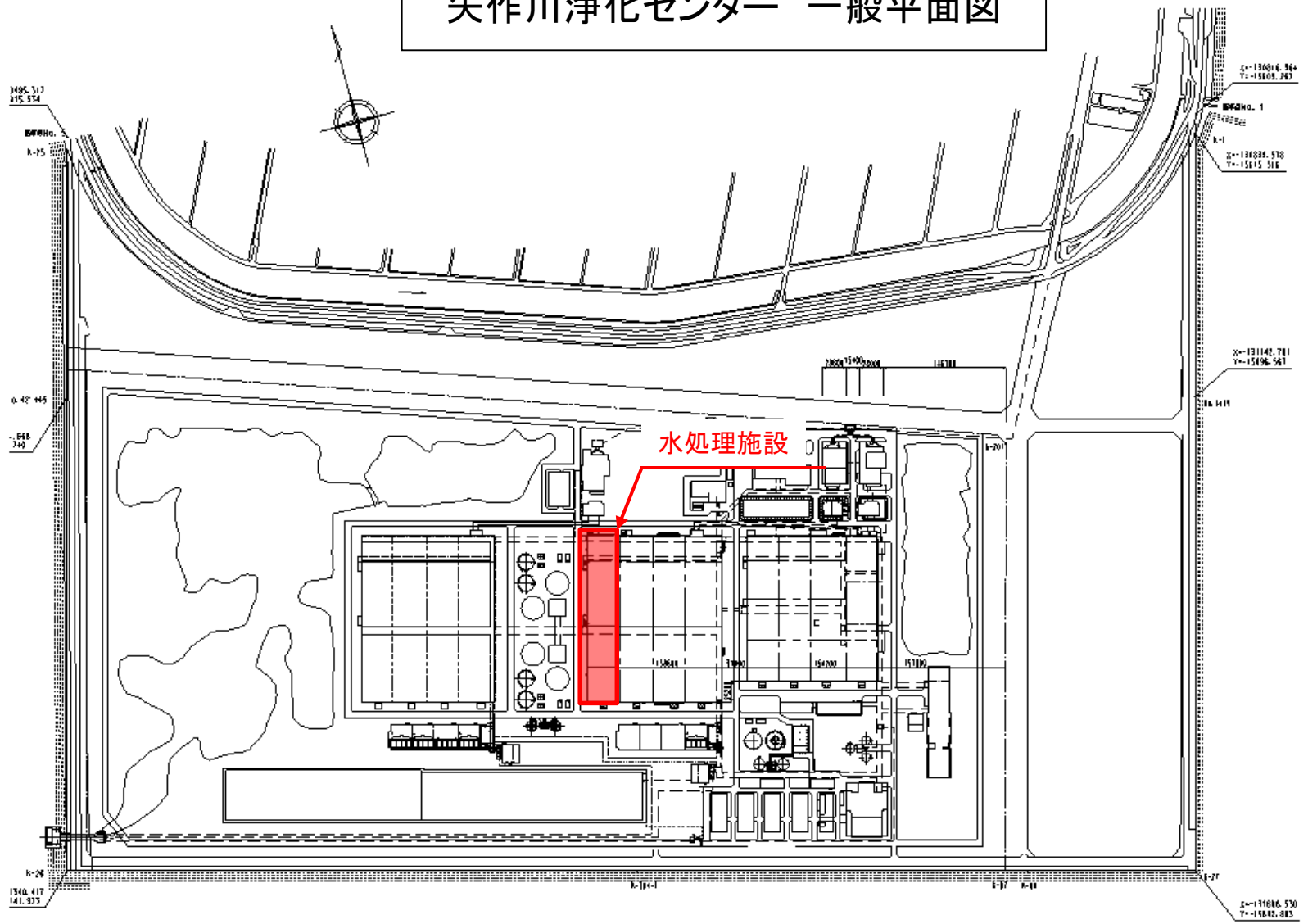
愛知県の下水道普及率は全国平均(平成31年度末79.7%)に比べて低いため、引き続き流域が一体となって総合的な下水道整備を実施し、下水道普及率を向上させる。

◆事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	策定主体で評価を実施。なお、計画の各要素事業(基幹事業)については愛知県公共事業評価実施要領に基づき評価を実施。
事後評価の実施時期	令和3年3月
公表の方法	愛知県建設局下水道課のWEBページ掲載

参考図面

矢作川浄化センター 一般平面図



工事箇所

【基幹事業】

- 事業名 矢作川浄化センター(水質保全)
- 工事概要 土木躯体築造工事 一式
- 事業箇所 西尾市港町地内
- 事業主体 愛知県
- 事業効果 汚水量の増加に対応するため、必要な処理能力の増設を適切な時期に着手することができた。

工事施工前

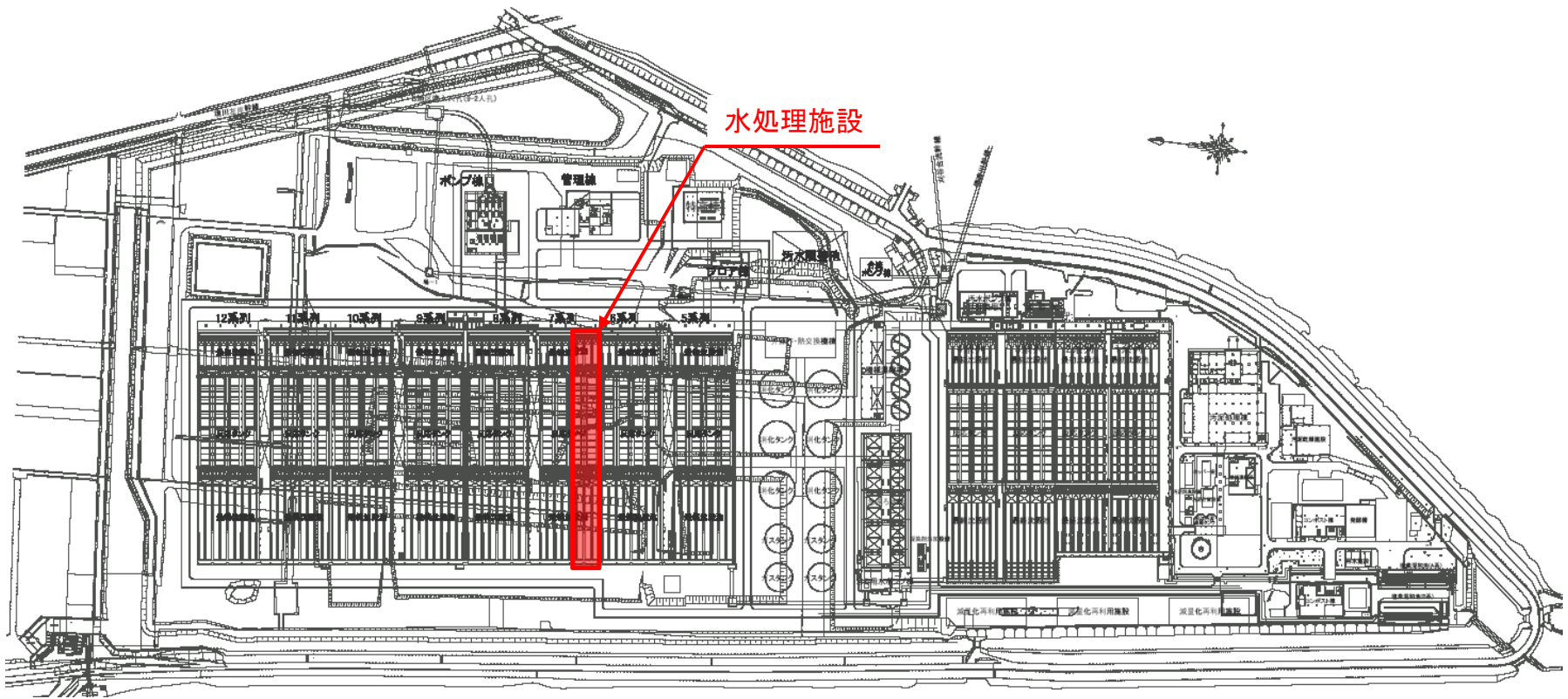


工事施工後



参考図面

境川浄化センター 一般平面図



工事箇所

【基幹事業】

- 事業名 境川浄化センター(水質保全)
- 工事概要 土木躯体築造工事 一式
- 事業箇所 刈谷市浜町地内
- 事業主体 愛知県
- 事業効果 汚水量の増加に対応するため、必要な処理能力の増設を適切な時期に着手することができた。

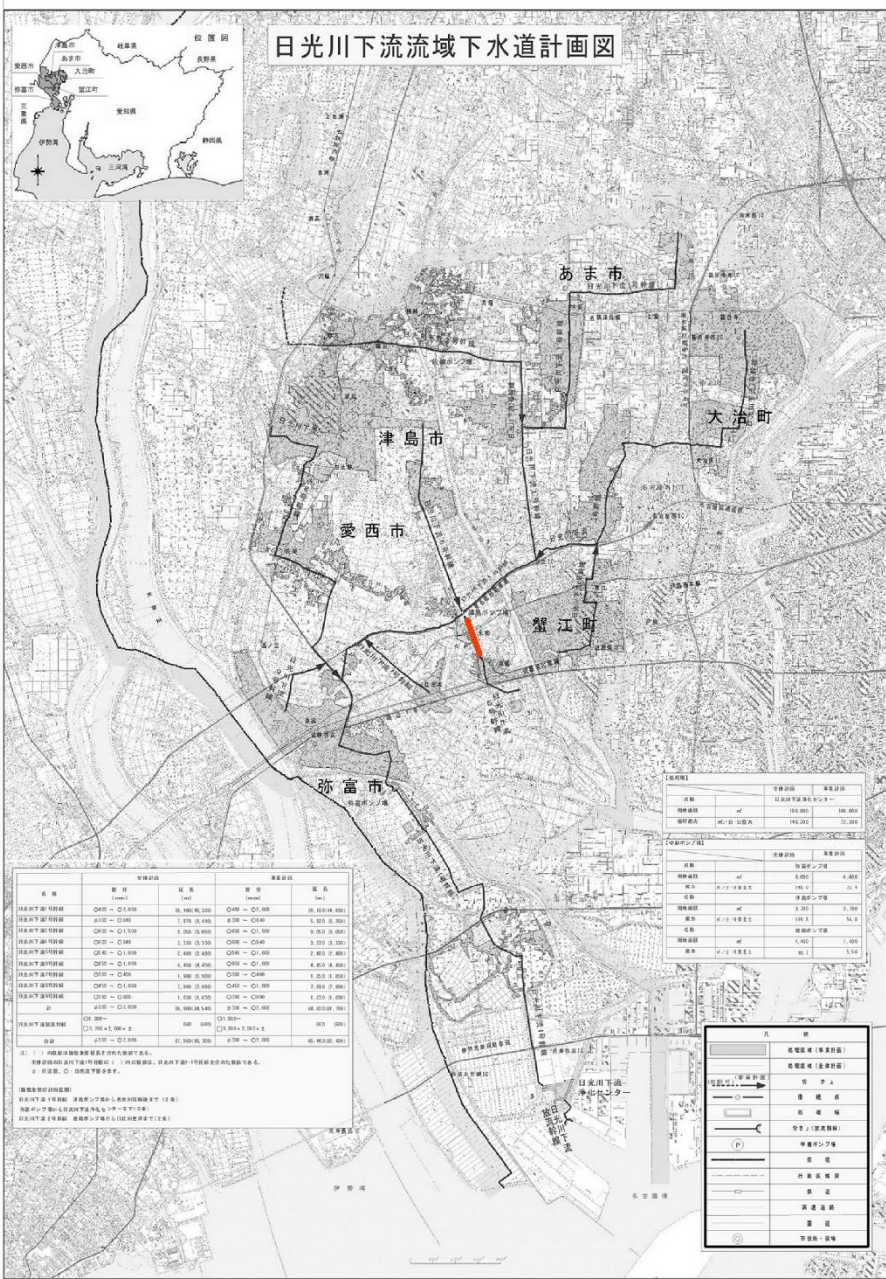
工事施工前



工事施工後



参考図面

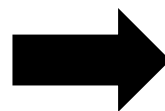


— 工事箇所

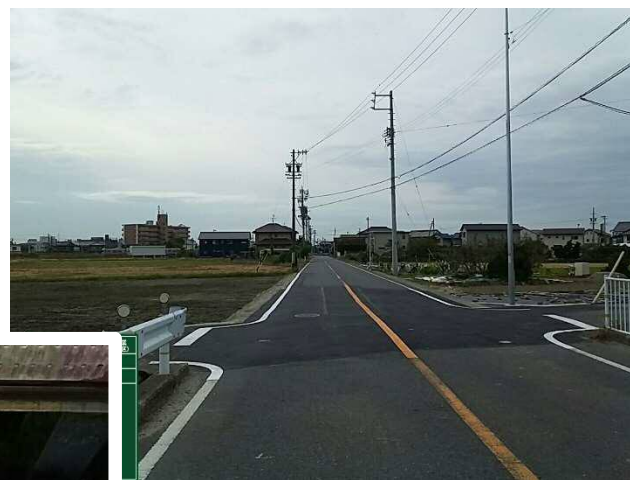
【基幹事業】

- 事業名 日光川下流浄化センター（未普及）
- 工事概要 管きょ布設工事 L=887m 人孔工 N=3箇所
- 事業箇所 津島市鹿伏兎町並びに愛西市大井町、鰯江町及び大野町地内
- 事業主体 愛知県
- 事業効果 日光川下流5号幹線の全てが供用開始となった。

工事施工前



工事施工後



施工中



施工後(管きょ内部)

